



2008年の北京五輪に向けて中国国内で様々なスポーツイベントが盛り上がりを見せる中、スポーツビジネスの分野で中国進出を図る日本企業が増えている。テニススクール運営を主軸としたテニス関連事業を展開している『藤野企画』もその一つ。同社の中国における事業開拓の命を受けて天津に赴任した池口一裕氏は現在、天津でのテニススクール設立を目指しながら、現役の日本プロテニス協会公認コーチとして、天津在住の日本人にテニスの楽しさを伝えている。

## シェラトン天津ホテル インターナショナルヘルスセンター テニス コーチ 池口 一裕 氏

【Ikeguchi Kazuhiro】

1975年3月生まれ。滋賀県出身。中学の時に軟式テニスを始め、高校から硬式に転向。高校3年間、大学4年間は朝から晩まで“テニス漬け”の生活を送る。大学卒業後、テニス関連事業を担う『藤野企画』に入社し、2002年11月、同社の中国事業展開の足がかりを築くべく天津に赴任する。日本プロテニス協会公認インストラクター。

シェラトン天津ホテル  
インターナショナルヘルスセンター  
Sheraton Tianjin HOTEL International Health Center

天津市河西区紫金山路 TEL 13752085568  
E-mail: hotennis@mail.zlnet.com.cn

有限会社 藤野企画  
天津テニスセンター事務局

東京都立川市泉町935-1 立川ルーデンスTC内  
URL: <http://www.hotennis.com>

JIN 現在天津では唯一の日本人テニスコーチでいらっしやって、レッスンの受講生の皆さんからは「コーチ」との愛称で呼ばれているそうですから、記者もそう呼ばせていただきます。コーチのテニスとの出会いはいつですか。池口 中学1年の時です。父が昔軟式テニスをやっていたので、私もちよつとやってみようと軟式テニス部に入部したのがきっかけです。軽い気持ちで始めたんです(笑)。JIN そうでしたか。でもそれ以来、テニス一筋なんですよね。池口 ええ。中学3年間ずっと軟式をやって基礎ができあがってきたので、高校に入学してから硬式に転向しました。高校の3年間は、朝授業が始まる前に練習、放課後には部活動の練習、夜は学校外のテニスクラブに通って練習、そして10時頃やっと帰宅するという、テニス漬けの生活を送っていました。大学に入ってからからは、そんな生活に一層拍車がかかって、1日のうちほとんどテニスに没頭していました。JIN その後どういった経緯でテニスコーチになられたのでしょうか。池口 大学卒業後は、1年余り、日本各地で開催されているテニストーナメントに参加して回っていました。プロも出場するようなトーナメントにも参加しまして、強豪と試合を重ねるうちに、ずっとテニスに関わっていきたくて、強く思うようになりました。そこで、

テニス関連の事業を手掛けている『藤野企画』に入社したんです。この会社はテニススクールやテニスクラブの運営、プロプレイヤーによるテニス講習会などといったテニス関連イベントの開催を主務としておりまして、私はイベントの主催からジュニアの育成まで様々な業務に携わりました。同時にコーチの仕事も始めました。

JIN なるほど。天津にいらっしやったのはどういうわけですか？

池口 『藤野企画』が手掛けている様々な事業の一つにテニススクールの中国進出がありまして、天津テニスセンター（天津網球中心、南開区）とのコネクションを活かして、天津に第一拠点を置くことになったんですが、その時に縁あって私に声がかかったんです。もともと自分の可能性に挑戦したいと思っていましたので、良い機会だと迷うことなく引き受けました。正式に天津に赴任したのは2002年11月。当社はまだ中国に事業母体がないため、シェラトン天津ホテルのご協力の下、

同ホテルのインターナショナルヘルセンターのテニスコーチとして指導に当たる傍ら、中国事業展開の足場作りをしています。

JIN 現在のレッスンの内容を簡単に教えてください。

池口 日本人を対象とした個人及びグループレッスンをしています。週末はジュニアのためのテニス教室を開いており、土曜日は九河国際村のコートで、日曜日はシェラトンのコートで子どもたちに教えています。平日は主に奥様が対象です。市のほぼ中心に位置する和平体育館の室内コートで3〜4人のグループレッスンをしています。9時30分〜11時、11時10分〜12時40分、13時30分〜15時の中から、ご都合のよい時間帯を選んで通っていただいております。

JIN 受講生は何人くらいですか？

池口 子どもは総勢50人くらい。例えば九河国際村では、子どもたちを6人ずつ7つのグループに分けて、1時間ずつ指導しています。

JIN ということは1日7時間、コーチは出ずっぱりで指導なさっているんですね。体は大丈夫なんですか？

池口 皆さんよく同じように気遣ってくださいますが、日々トレーニングしていますので、肉体的には問題ありません。逆に、元氣いっぱいの子どもたちからたくさんエネルギーをもらっています。私のレッスンをきっかけに、1人でも多くの子どもたちがテニスを好きになってくれたら、またこの子たちの中から将来プロのプレイヤーが誕生してくれたら…そんな期待が私の心の支えになっています。

JIN 子どもたちの成長は本当に楽しみですね。レッスンで心がけていらっしゃることは何ですか？

池口 ただ単に技術的な指導をするだけでなく、皆さんにテニスを楽しんでいただけるよう、テニスを好きになっていただけるよう工夫しています。特に奥様に対しては、天津は娯楽が少ないですから、そのぶん楽しんでいただけるように、和気藹々とした雰囲気づくりも心がけています。

JIN コーチご自身テニスを心から楽しんでいらっしやるのがよく伝わってきました。ところで、今後の目標はやはりテニススクールの開設ですか？

池口 そうですね。天津を中心にテニスの楽しさ、面白さをより多くの方に伝えられるようにしていきたいと思っています。また、テニスを通じて、よ

り多くの方と知り合い、良好な人間関係を築いていけたらと願っております。

JIN 天津は市場として魅力がありますか？

池口 天津に限らず、中国全土が大いに魅力のある市場であると思います。2008年の北京五輪に向けて、中国のスポーツへの関心は高まりつつあります。中でもテニスは、アテネ五輪で中国チームが金メダルを獲得したこともあり、一層盛り上がりつつあるのではないのでしょうか。実はまだ、中国には純日系のテニススクールは進出していません。それは中国進出が難しいということも意味しているんですが、だからこそ果敢に挑戦し、この分野の先駆者になりたいと意気込んでいます。

JIN コーチご自身の目標は？

池口 天津は、コートなどハード面は充実していますが、一般の方々がテニスを気軽に楽しめる環境はまだまだ整っていないと言えないと思います。ですから今後は、日本人だけでなく中国の一般の方々にもテニスを楽しんでもらえるような環境作りにも傾注していきたいです。また、レッスンはもちろん、テニスに関することならどんな些細なことでも皆さんのお力になりたいと思っています。お気軽にご連絡いただければ嬉しいです。

JIN ご活躍を期待しています。本日はありがとうございました。

(2004年8月取材)



和平体育館の室内コートにて。インタビュー終了後、池口コーチに華麗な技を披露していただいた。